

当院先天性横隔膜ヘルニア術後患者の漏斗胸発症に関わるリスクファクター一解析

1. 研究の目的

漏斗胸は先天性横隔膜ヘルニア術後合併症の1つであり、10-30%程度の症例に発症するとされています。退院時に在宅酸素を要したり、人工呼吸や酸素投与等の期間が長かったりする患者さんに発症しやすいと指摘されていて、横隔膜ヘルニアの重症度とは必ずしも関係しなかったとされています。

当院は横隔膜ヘルニアの症例数が多いだけでなく、重症例が多いという特徴があるため、当施設にて横隔膜ヘルニア術後漏斗胸発生のリスク因子解析を行い、重症度との関連がどうかを検討することにしました。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2006年1月1日～2023年12月31日までに横隔膜ヘルニアと診断された方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年03月31日
- ③ 研究方法：電子カルテから情報を集めて解析します。

3. 研究に用いる情報の種類

性別、在胎週数、出生体重、胎児期の検査所見、入院中に行った治療（手術を含む）および検査所見に関するデータ、外来受診時の情報など
患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター（詳細は下記問い合わせ先をご参照ください）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年11月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 診療部長 石丸哲也

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7336）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 診療部長 石丸哲也